

採択年度	R3	R2	R2	R2
企業名	ANRI	East Ventures	伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社	イノベーション・エンジン株式会社
HP	<a href="https://anri.vc/">https://anri.vc/</a>	<a href="https://east.vc">https://east.vc</a>	<a href="https://www.techv.co.jp/">https://www.techv.co.jp/</a>	<a href="https://www.innovation-engine.co.jp/">https://www.innovation-engine.co.jp/</a>
VCの概要	シードステージへの投資に強みを持つ、独立系ベンチャーキャピタルで、インターネット領域を中心に、ディープテック領域や、ライフサイエンス等の投資回収期間が比較的長期な領域やITとの融合領域へも投資をしています。ベンチャーインセプションから手掛けるのが特徴です。	シードステージに特化した国内で最もアクティブなVCファンド	伊藤忠商事の子会社でありながら、独立したファンド運営を行う独立系VC。シリーズA前後のアーリーステージを中心に「新産業を創出し、社会に進化を持たす」ことを目指し、特定のテーマ・バズワードを追った投資ではなく、投資対象企業が社会に与える本質的な価値を見極め、投資をしていく。	当社は2001年に設立され、テクノロジーから生み出される有望事業領域を創出・成長させるための投資を推進してきている。これまでのファンド等の運用実績は約400億円であり、今後も世界に雄飛するテクノロジー企業の発掘・投資・成長支援を積極的に行っていく。
属性	独立系	独立系	独立系	独立系
主な投資ステージ	シード、アーリー	プレシード、シード	シード、アーリー、ミドル、レイター	シード、アーリー、ミドル、レイター
投資対象領域(業界等)	インターネット領域からディープテック領域、融合領域等	インターネット、ソフトウェア、テクノロジーが関連する領域全般	特定のテーマは定めておらず、全領域が投資対象	戦略的な投資領域は、DX革命、健康長寿革命、働き方革命、環境エネルギー革命から生み出される有望事業領域
1社あたりへの投資金額(目安)	数千万円から最大20億円まで	5～30百万円	200～500百万円	案件に応じた幅広い金額実績となっている。
リードインベスターのスタンス	シード、アーリー期においては原則リードインベスターとして支援する方針です。	初回は原則リードインベスターですが、必要に応じて対応	状況に応じてリードでもフォローでも入ることができる	状況に応じてリードでもフォローでも入ることができる。
投資先への支援内容	資金調達支援、経営支援、CXO採用支援、各種サービスの投資先サポートプラン提供等、必要に応じて可能な限りサポートします。	最大規模の投資先ネットワークによる、情報共有、初期顧客、Exitした創業者のエンジェル投資・メンタリングなどファンドエコシステム全体での支援	経営的な支援のほかに、伊藤忠グループの強みを生かし、営業事業開発支援を積極的に実施	当社が有する、技術の事業化、産業化を実現するための豊かな経験と幅広い知識・ネットワークを活用して、営業支援、企業提携、経営陣採用など、成長加速支援を推進する。
ポートフォリオ	<a href="https://anri.vc/companies">https://anri.vc/companies</a>	CAMPFIRE, カンム, みんなのマーケット, モイ, dely, ヘイ, ココン, Progate, SmartHR, ヌーラボ, AppBrew, HOKUTO, LUUP	エンタープライズ、B2B、ヘルスケア、C向けサービス全般に投資 詳細はHPご参照 ( <a href="https://www.techv.co.jp/portfolio/">https://www.techv.co.jp/portfolio/</a> )	幅広い投資領域(宇宙、環境エネルギー、ディープテック、DX、医療ライフサイエンス、など)で投資実績を有する。
Exit実績	UUUM、ラクスル、クラウドワークス、デジタルフト、ペロリ、コネヒト、Sapeet等	メルカリ, BASE, メドレー, グノシー, ツクルバ, ユーザーローカル, アドベンチャー, ビジョナル, Branding Engineer	代表的な銘柄 メルカリ、ラクスル、クラウドワークス、ユーザーベース、ヤプリ、Retty他多数	上記領域にて数多くのExit実績を有する。
備考				

採択年度	R2	R3	R1	R3
企業名	インキュベイトファンド株式会社	インクルージョン・ジャパン株式会社	SMBCベンチャーキャピタル株式会社	Gazelle Capital株式会社
HP	<a href="https://incubatefund.com/">https://incubatefund.com/</a>	<a href="https://inclusionjapan.com/">https://inclusionjapan.com/</a>	<a href="https://www.smbc-vc.co.jp/">https://www.smbc-vc.co.jp/</a>	<a href="https://gazellecapital.vc/">https://gazellecapital.vc/</a>
VCの概要	シード期に特化した独立系ベンチャーキャピタル。創業期からのハンズオン支援にこだわり、実績を有するパートナーやHR、PRの専門チームによる手厚い支援を実施する。	ESGやSDGsを成長の追い風とするベンチャー企業への投資を投資戦略の軸に掲げる。ESG投資の第一人者である夫馬賢治氏、前国連大使でありSDGs普及の実績を持つ星野俊也氏を顧問に招聘し、世界基準に照らしたESG投資を実現すべく、国連責任投資原則(PRI)への署名も行っている。	SMBCグループ唯一のベンチャーキャピタルとして多様なエクイティニーズにお応えしています。三井住友銀行本店各部やSMBC日興証券等と連携し、成長分野に対するエクイティ支援、IPO支援を行っています。事業ステージや業種を限定せず、幅広い領域に投資をするベンチャーキャピタルです。	デジタル化が遅れている既存産業に変革を起こす創業期のベンチャー企業の未公開株式を取得し、創業期をサポートして企業価値を高め、イグジットにより利益獲得を目指すファンド。
属性	独立系	独立系	金融機関系	独立系
主な投資ステージ	プレシード、シード	プレシードからアーリー中心	全てのステージ	プレシード、シード、アーリー
投資対象領域(業界等)	エンタメやゲームなどのTo C事業、SaaSなどのTo B事業、ディープテック等幅広い領域にわたる。	制限なし	全ての業種	農業・林業・漁業などの一次産業、建設業、製造業などの二次産業、不動産や保険、金融、などの三次産業のレガシーな産業に対し、DXを加速する事業やSaaS事業を展開する創業間もない未上場企業へ投資を行う。
1社あたりへの投資金額(目安)	1社当たり最高3,000百万円(現行の5号ファンドの場合)	100~200百万円	非公開	500~3,000百万円
リードインベスターのスタンス	原則として、ファーストラウンドのリード投資家としてリードを行う。	リードインベスターであることを原則としています。	フォロワー投資家としての実績が多いですが、リードインベスターになる案件もございます。	基本的にリードで入る。例外的に、一部プレシリーズAラウンドの企業にフォローでは入る場合もある。
投資先への支援内容	経営支援、資金調達支援、自社で有している専門チームを通じたPR,HR支援	事業戦略の策定から、営業/マーケティング支援、ユーザー/市場調査、人材採用や育成、資金調達、アライアンスやM&Aなど、幅広く支援します。	投資先の経営支援に積極的に取り組み、一体となって企業価値向上を推進します。経営者との信頼関係を構築し、SMBCのネットワークを活かして投資先と大企業・人材・専門家との橋渡しに尽力します。	営業支援 / 拡販活動、資金調達 / 資本業務提携、採用支援、M&Aでの売却支援、Gazelle Capital投資先を対象に30社を超えるサービスの無償、割引利用プランの提供を行う。
ポートフォリオ	iSpace, Bitflyer, Pixie Dust Technology, Caster, WOVNなど	オンラインメンタリングのエール株式会社、宇宙開発ベンチャーの株式会社ispace、CMの効果測定サービスを展開する株式会社サイカ、など計18社。	1.業種:IT37%、ライフサイエンス10%、サービス38%、製造・テクノロジー12%、その他3% 2.ステージ:スタートアップ15%、アーリー55%、ミドル16%、レイター5%、創薬系バイオ9%	合計20社ほどに投資実行済み 例として、any株式会社、Paintnote株式会社、SWIMMER株式会社、Recustomer株式会社、株式会社シェアグリ
Exit実績	Sansan, Medley, Wealthnavi、トヨクモ、Gumiなど	株式会社ココナラ	近年のIPO実績は、2019年度7社、2020年度16社、2021年度(9/6時点まで)5社	現状ございません。
備考				現在Gazelle Capitalの2号ファンドを組成中のため、認定期間中に運営するファンドがもう一つ増える形になります。

採択年度	R2	R3	R1	R2
企業名	株式会社Kips	KUSABI	グローバル・ブレイン株式会社	株式会社ケイエスピー
HP	<a href="http://www.kips.co.jp/company/aboutus">http://www.kips.co.jp/company/aboutus</a>	<a href="https://kusabi.fund/">https://kusabi.fund/</a>	<a href="https://globalbrains.com/">https://globalbrains.com/</a>	<a href="https://www.ksp.co.jp/">https://www.ksp.co.jp/</a>
VCの概要	<p>【設立】 2006年1月5日</p> <p>【本社】 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル EGG JAPAN</p> <p>【上場日】 2019年9月20日 * 東証TOKYO PRO Market (9465)</p> <p>【資本金】 62,355千円</p> <p>【代表者】 代表取締役 國本行彦 (JAFCO出身)</p>	<p>2021年3月登記の独立系ファンド。リード&amp;ハンズオン投資を行う、クラシックスタイルのVC。ニッセイ・キャピタル、JAFCO、グロービス・キャピタル・パートナーズ出身の3GPで設立。3名合計で16社のIPO、14社のM&amp;A/Trade SaleのExit実績。</p>	<p>独立系ベンチャーキャピタルとして2001年よりベンチャーキャピタル事業を行っており、徹底的なハンズオンとスピーディで透明な投資により、ベンチャー企業と共に成長していく企業を目指しております。また多くの大企業とのネットワークを強みとして、CVC運営およびアライアンス構築支援も強みとしております。</p>	<p>かながわサイエンスパークの中核運営主体で、神奈川県と川崎市が出資する第3セクター。研究開発型の企業及び起業家予備軍に対し、投資も含めたインキュベーションを行っている。</p>
属性	独立系	独立系	独立系	その他(地方自治体系)
主な投資ステージ	シード・アーリー中心	全ステージ(シード~レイター)	アーリー、ミドル、レイター	シード・アーリーが中心
投資対象領域(業界等)	業種・地域のフォーカスなし	全セクター	AI、SaaS、Commerce、Food Tech、Fintech/Blockchain、Robotics、Life Science、など次の成長産業となりうる領域へ幅広く投資しております。	研究開発型の企業であれば業種は問わない
1社あたりへの投資金額(目安)	10~50百万円	50~500百万円	50~2,000百万円	30百万円
リードインベスターのスタンス	主にリード投資	原則、リード投資	主にリードインベスターとして投資し、積極的にボードメンバーに入り経営支援にコミットしております(案件によってはフォローインベスターとして投資させていただくこともあります)	ファンドの規模が大きくないことから、シード・アーリーの段階ではリードを取り、ミドル以降は外部のVCに引き継ぐ。
投資先への支援内容	事業計画や資本政策の立案実行支援 認定NPO法人インデペンデンツクラブのネットワーク活用	月1~2回のメンタリングを通じたビズデブ、マーケティング、採用・組織構築、調達支援等。	担当キャピタリストによる支援だけでなく、各領域のプロフェッショナルで構成される支援専門チームとも連携し戦略面からオペレーション、Exit支援まで幅広くサポートさせて頂いております。	相談があれば何でも対応する方針としているが、ビジネスイノベーションスクール・アクセラレーションプログラムを通じたビジネスモデルの策定・ブラッシュアップ、大手企業とのマッチングが中心
ポートフォリオ	シード・アーリー中心に24社(2021年6月末時点)	-	国内、海外含め多数(詳細はHP参照) <a href="https://globalbrains.com/portfolio">https://globalbrains.com/portfolio</a>	バイオ:55%、医療機器37%、IT:8% シード・アーリー:63%、ミドル:19%、レイター:18%
Exit実績	株式会社ラクス(2015年12月9日マザーズ上場) トビラシステムズ株式会社(2019年4月25日マザーズ上場)	-	IPO)レアジョブ、メルカリ、ウェルスナビ、BASE、ラクスル、メドレー、Creema、gifteeなど多数 M&A) SMARTCAMP、Loco Partners、LUXAなど多数	2020年度までに5本ファンドを通じて累計17社が株式公開 2021年度は5社が株式公開予定 その他事業売却が成功した企業が5社
備考				2022年度に新ファンドを立ち上げる予定

採択年度	R2	R1	R1	R2
企業名	JMTCキャピタル合同会社	静岡キャピタル株式会社	信金キャピタル株式会社	Skyland Ventures
HP	<a href="https://capital.jmtc.co.jp/">https://capital.jmtc.co.jp/</a>	<a href="https://www.shizuokabank.co.jp/companyinfo/scc.html">https://www.shizuokabank.co.jp/companyinfo/scc.html</a>	<a href="https://www.shinkin-vc.co.jp/">https://www.shinkin-vc.co.jp/</a>	<a href="https://skyland.vc/">https://skyland.vc/</a>
VCの概要	JMTCキャピタルは、ファブレス機能材料メーカーである。日本材料技研を親会社とするベンチャーキャピタルです。化学・素材企業を共同出資者とする複数のファンドを通じて、ハードテック／マテリアルテックスタートアップの成長を支援しています。	1996年の1号ファンド設立以来、静岡県を中心に母体行である静岡銀行の営業エリア(東京、神奈川、愛知、大阪)を対象に、株式公開支援等エクイティファイナンスを展開。	全国の信用金庫とともに中小企業の育成・支援を行う、信金中央金庫100%子会社のベンチャーキャピタル会社です。信用金庫、信金中央金庫と連携して企業のライフステージに即した質の高い中小企業向け投資育成・経営支援サービスを提供しています。事業承継・M&A業務も手掛けており、企業の課題解決に努めています。	Skyland Ventures(SV)は、U25のシードスタートアップ投資をメインに行うベンチャーキャピタル(VC)ファンドです。“The Seed Maker.”というミッションを掲げ、テクノロジー産業に大きなインパクトを与えるスタートアップへのシードマネーを提供するVC投資を行っています。
属性	事業会社系	金融機関係	金融機関係	独立系
主な投資ステージ	シード、アーリー、ミドル	アーリー、ミドル、レイター	シード、アーリー、ミドル、レイター	プレシード、シード
投資対象領域(業界等)	ハードテック／マテリアルテックスタートアップ	株式上場を指向するベンチャー企業の創業・新事業の支援、医療・介護、環境、IoT、AI、ロボット、航空宇宙を始めとする様々な業種の企業に投資。	対象業種は特定しておりません。但し、公序良俗に反する事業、風俗営業又は反社会的活動に従事もしくは関連する事業者は除きます。	EC・メディア・コミュニティ、ゲーム、Saas・BtoB・HRなどのインターネットサービス全般であり、VR・Vtubeなどエンタメ領域には重点的に投資を行っています。
1社あたりへの投資金額(目安)	30～100百万円	公開しておりません。	30百万円	1～100百万円
リードインベスターのスタンス	運用ファンドにより異なる。JMTCハードテック2号ファンド:フォローで入ることが多い。JMTCケミカル&マテリアルズファンド/MMCイノベーションファンド:リードでもフォローでも入ることができる。	静岡県内企業に対しては、リードインベスターを取るケースがあります。	ファイナンス・ラウンドにおいてリードVCの役割を基本的にはとっていませんが、単独投資の場合はファイナンス手続き全般および事業運営サポートのお手伝いをいたします。	シード・アーリーステージにおいて単独の投資判断を行い10-15%取得し、事業立ち上げや次回以降のファイナンスを支援する。
投資先への支援内容	経営助言、材料開発支援や量産時における材料選定のサポート、必要に応じてLPとの共同開発等の推進等。	①投資先事業とシナジーのある取引先とのビジネスマッチング。 ②資本政策、上場スケジュール、上場審査対応等に関する助言。 ③取締役会へのオブザーバー出席を通じて業績向上に向け。	①事業計画・資本政策策定、金融機関との良好な関係構築等のアドバイス、②ファイナンス時のVC紹介、営業マッチングの事業会社紹介、③主幹事証券、監査法人、証券代行、証券印刷会社等との連携による上場サポート	ファイナンス支援、戦略策定支援、営業支援、各種サービスの投資先プランの提供など
ポートフォリオ	WHILL、SEQSENSE、トリプル・ダブリュー・ジャパン、Photo electron Soul、ユニロボット、Rapyuta Robotics、エレファンテック、エネコートテクノロジー他。	公開しておりません。	浜松市内では、株式会社HappyQuality、リンクウイズ株式会社、株式会社ANSeeNの各社様に投資しております。	Branding Engineer、クラスター、ANYCOLOR、アイデミー、ROXX、LEAN BODY、Pictoria、ポジウィル、TranSe
Exit実績	なし	1984年の創業以来、静岡県内企業を含め多数の株式公開を支援。	過去運営ファンド2本の投資先のうち30社が上場しました。2012年以降、投資対象を全国の信用金庫からの紹介先に絞っているため、最近では上場先が出ていないものの、投資EXITに至った投資先は多数あります。	IPO実績: Branding Engineer M&A実績(一例): hachidori
備考			しんきんーやらまいか投資事業有限責任組合(通称:やらまいかファンド)を運営しています。組合出資者であります浜松磐田信用金庫様から投資候補先企業をご紹介いただいております、地域貢献に努めております。	

採択年度	R3	R1	R3	R3
企業名	Spiral Capital株式会社	栖峰投資ワークス株式会社	ゼロイチキャピタル	株式会社ゼロワンブースター
HP	<a href="https://spiral-cap.com/">https://spiral-cap.com/</a>	<a href="https://siwi.info/">https://siwi.info/</a>	<a href="https://zeroichicapital.com/">https://zeroichicapital.com/</a>	<a href="https://01booster.co.jp/">https://01booster.co.jp/</a>
VCの概要	大企業のオープンイノベーション支援企業であるSpiral Innovation Partnersをグループ会社として設立し、スタートアップの事業成長に寄与する大企業との連携サポートを強みとする。また、投資銀行・コンサル・PE・VC・事業会社等、様々なバックグラウンドを有するキャピタリストが所属。	栖峰投資ワークスは「公正」を理念に掲げ、シード～アーリーステージのスタートアップへ投資を行う独立系VCです。投資後は、バックオフィス体制の構築支援から新規取引先開拓支援まで支援先のボトルネックとなっている領域への重点的なフォローアップを通じて、その成長を支援させていただいております。	ゼロイチキャピタルは起業家にとって最初の伴走者として、起業前相談・アイディエーション・事業プラン立案・設立手続き・チームアップ・ファイナンス等多岐にわたる領域をサポートし、シリーズAラウンドへの早期到達、そしてその先の成長軌道に乗せることを目指します。	「日本を事業創造できる国にして世界を変える」という企業理念のもと、大手企業とベンチャー企業が相互に補完し合い、イノベーションを加速するコーポレートアクセラレータ・プログラムなどを運営すると共に、理念にそったアーリーステージのスタートアップへの出資を行っております。
属性	独立系	独立系	独立系	事業会社系
主な投資ステージ	アーリー、ミドル、レイト	シード～アーリー	プレシード、シード	プレシード、シード、アーリー
投資対象領域(業界等)	インターネット・テクノロジー領域全般をカバーしつつ、X-Tech(ネットとリアル融合)を重点テーマとする。投資領域は、「業界変革型ビジネス」と「新産業創出型ビジネス」の2つが主な対象。	オールラウンド	コロナ禍において起こりつつある人の行動や価値観の変化、SDGs実現に向けた人や企業の意思決定の変化を捉え、社会に変革をもたらすインパクトの大きなテーマに取り組む起業家を積極的に支援します。	領域は限定しておりません
1社あたりへの投資金額(目安)	50～1,000百万円	10～100百万円	30～50百万円	5～30百万円
リードインベスターのスタンス	積極的にリード投資を行うスタンス。特にアーリーステージにおいては、半数以上がリード投資の実績を有する。	リードインベスター・フォロワー問わず。	原則として外部資金調達の初回ラウンドにおけるリード投資家として参画することにこだわり、高いコミットメントで伴走します。	リードにこだわってはおおりません
投資先への支援内容	上記の通り、大企業との連携・顧客紹介を強みとする。加えて、アーリー期の企業におけるCFO/CSOロールの提供、CxOの採用支援、マーケティング・PR支援、エグジット戦略策定支援を行う。	リード:ハンズオン フォロワー:ハンズイフ	・事業プラン立案 ・週1回経営会議の運用 ・ファイナンス ・オペレーション	01Boosterがもつ事業会社ネットワークを活用した連携を軸に、IT、知財、金融業界で10年以上経験しているメンバーによる専門性を持ったメンタリングにより成長を支援しています。
ポートフォリオ	X-Techをテーマに掲げ、これまで累計約50社に投資実行。うち、約7割程度がアーリーステージでの投資である。	インゲージ、おてつたび、ポコアポコネットワークスほか13社	PaleBlue(超小型衛星用エンジン開発、東大発ベンチャー) Opt Fit(施設内の危険検知AI開発、名古屋発ベンチャー)	YAMAP, OFFICE DE YASAI, Connected Robotics等と約30社に出資しており、直近ではCrowdloan, datagusto, Holotchなど
Exit実績	これまでに4社のExit実績を有する。具体的には、rakumo社、エネチェンジ社、ビジョナル(旧ビズリーチ)社の3社がIPO、アイデンティティ社がM&AによるExitを迎えている。	なし	なし	M&Aにて2社
備考	セイノーをアンカーLPとする物流領域特化型ファンドLogistics Innovation Fundも運営しており、上記の投資領域に加えて、物流周辺領域は積極的に投資を行っている。		2021年6月に新規設立	

採択年度	R1	R3	R3	R3
企業名	大和企業投資株式会社	W ventures株式会社	株式会社TNPスレッズオブライト	株式会社DGインキュベーション
HP	<a href="https://www.daiwa-inv.co.jp/">https://www.daiwa-inv.co.jp/</a>	<a href="https://wventures.jp/">https://wventures.jp/</a>	<a href="https://www.tnp-g.jp/overview/threads/">https://www.tnp-g.jp/overview/threads/</a>	<a href="https://dgincubation.com/">https://dgincubation.com/</a>
VCの概要	大和企業投資株式会社は、1982年に創業したベンチャーキャピタルです。大和証券グループを中心とした広範なビジネスネットワークや長年にわたる投資経験・ノウハウを活かし、これまでに数多くの企業の成長・株式上場に貢献してきました。	2019年に1号ファンドを50億円で組成。コンシューマーインターネット領域を中心とした投資。主にシード、アーリー期の企業に対しリード投資家として投資。	2016年7月にTNPグループとして新たに立ち上げたベンチャーキャピタルです。TNPが構築してきたノウハウとネットワークに更なる専門性を持つメンバーを加え、Society5.0の実現に向けて、革新的技術を活かした新たな市場創出の可能性に資するベンチャー企業等への発掘・支援・育成を行っています。	株式会社デジタルガレージ(東証4819)の100%子会社で、横浜銀行のCVCファンド「Hamagin DG Innovation Fund」と、日本初のシードアクセラレータープログラムOpen Network Lab(Onlab)関連投資を行う「Onlab・ESG1号ファンド」を運営しております。
属性	金融機関係	独立系	独立系	事業会社系
主な投資ステージ	シードからレイターステージまで幅広く出資	シード・アーリー	全般に取り扱いますが、シード、アーリーが多くなっています。	シード、アーリー、ミドル
投資対象領域(業界等)	対象外領域なし	toCビジネスを中心に投資を実施。中でもライフスタイル、スポーツテック、エンターテインメント領域に注力している。	「Society5.0」に向けた産業のパラダイムシフトに資する企業(バイオ、メディカル、ヘルスケア、ICT、IoT、ソフト、コンテンツ、デバイス、装置・プロセス技術開発、環境関連、エネルギー関連等)	金融機関のオープンイノベーションや地域経済にイノベーションをもたらす企業、シードアクセラレータープログラム参加企業、ESG分野に関連する企業を中心に、今後将来性が見込まれるベンチャー企業が対象です。
1社あたりへの投資金額(目安)	1社あたり数億円(※事業進捗に応じ複数回の投資可能性あり)	10百万円~2億円	160百万円(現行ファンドの平均投資金額。アーリーの初期投資から初めて事業進捗に合わせた継続投資を基本とする)	数百万円~300百万円
リードインベスターのスタンス	リード・フォローともに可能	基本的にリードで入ることが多い	シード、アーリー段階として経済価値を生むテクノロジー、サイエンスを発掘し、マイルストーンを事業計画に設定して継続投資をしていきます。	シード・アーリーステージでは、リードインベスターとしての実績多数。ミドル・レイターステージにおいても、要望に応じてリードインベスターとなるケースあり。
投資先への支援内容	大和証券グループを中心とした広範なネットワークによる顧客候補の紹介及びビジネスマッチング機会の提供など。資金調達、上場準備を意識した財務面でのアドバイスなど。	事業戦略作成のサポートや、弊社が運営するインキュベーション施設で期間限定で貸出、起業後間もない企業をオフィス提供という形でサポート外部のコンサルティング企業と提携しUI/UX勉強会等を実施。	シード、アーリーのテクノロジー、サイエンスが、経済価値を生み出すための仮説、検証のための資金供給を含めた支援を実施、企業価値の極大化のために大企業等との協業を含めた育成システムで成長支援を行います。	日本初のシードアクセラレータープログラムであるOnlabが有する多様な投資先支援のノウハウおよびグローバルな投資先とのネットワークを活用し、投資先の企業価値向上を全面的に支援。
ポートフォリオ	<a href="https://www.daiwa-inv.co.jp/portfolio/">https://www.daiwa-inv.co.jp/portfolio/</a>	Creema、モノカブ、ガレージバンク、スナックミー、レンティオ、トリビュー、GO TODAY SHAIRESALON	新設のためなし	Hamagin DG Innovation FundはWealthPark株式会社、Onlab・ESG1号Fundは株式会社Luupなど9社に出資済み。
Exit実績	<a href="https://www.daiwa-inv.co.jp/feature/ipo/">https://www.daiwa-inv.co.jp/feature/ipo/</a>	Creema、モノカブ	(TNPグループの既存ファンドから)ダブルスコープ、アイキューブドシステムズ、筑波精工、STG、シンバイオ製薬	会社設立間もないため、Exit実績はございません。DGインキュベーションのCIOは、前職で、mercari・Sansan・JTOWER・Ai inside等6社でExit(IPO)実績。
備考				

採択年度	R3	R2	R3	R2
企業名	株式会社DGベンチャーズ	株式会社デフタ・キャピタル	株式会社ドーガン・ベータ	DRONE FUND株式会社
HP	<a href="https://dgventures.com/">https://dgventures.com/</a>	<a href="https://www.deftacapital.jp/">https://www.deftacapital.jp/</a>	<a href="https://dogan.vc">https://dogan.vc</a>	<a href="https://dronefund.vc/">https://dronefund.vc/</a>
VCの概要	デジタルガレージグループの投資事業を担う子会社として、インターネット分野においてグローバルに活躍する起業家を支援しています。グループの様々な事業とのシナジー効果を期待できるスタートアップ企業を対象に、投資だけでなく事業をともに創造するインキュベーターとして投資事業を行っております。	「天寿を全うする直前まで健康でいられる社会の実現」を理念として米国・イスラエル・日本で企業育成を行うVC。代表は1980年代より米国でベンチャーキャピタリストとして活動している原丈人。本社は神奈川県横浜市。	ドーガン・ベータは、地域にこだわった投資を行うベンチャーキャピタルです。福岡から、九州を始めとした若いスタートアップ企業へと投資を行い、新産業の創造を促進することによって、地方経済における雇用の多様化やベンチャーエコシステムの活性化を行ってきました。今後、この取組みを他地域にも広げていきます。	DRONE FUNDはドローン・エアモビリティ前提社会の実現を目的として国内外のドローン・エアモビリティ及びその周辺領域の企業に対する出資およびハンズオンを行っています。投資だけでなく、LPを含む事業会社との事業開発の支援や社会受容性の向上を目的とした啓蒙活動、更には公共政策活動に注力しています。
属性	事業会社系	独立系	独立系	独立系
主な投資ステージ	シード、アーリー、レイター	プレシード、シード、アーリー	プレシード / シード / プレシリーズA / シリーズA	全投資ステージ(プレシード、シード、アーリー、ミドル、レイター等)
投資対象領域(業界等)	デジタルガレージグループと事業連携可能な企業を中心に、グローバルで投資を行っております。	ヘルスケア領域を重点とはするものの、この領域はすそ野が広く、エネルギーや新素材、ビッグデータなど、健康分野への応用が利く技術幅広くに取り扱います。	起業家の市場理解を尊重し、特に設けていません。	ドローン・エアモビリティ及びその周辺技術を事業領域とする国内外のスタートアップを対象としており、ドローンとは空を飛ぶものに限らず、陸・海・空のフィールドで自律的に動くロボティクス全般としております。
1社あたりへの投資金額(目安)	数百万円～300百万円	30～200百万円	5～150百万円	10～500百万円
リードインベスターのスタンス	シード・アーリーステージでは、リードインベスターとしての実績多数。ミドル・レイターステージにおいても、要望に応じてリードインベスターとなるケースあり。	基本的にリードで入ることが多い。	プレシード/シード期はリード投資が多く、複数ラウンドでの追加投資も実施。フォロー投資も検討が可能です。	シード、アーリー期の企業に対してはリードインベスターを取り、社外取締役の派遣などを通じて積極的に支援をしていく方針です。一方で、フォロー投資家として支援するケースもあり、柔軟に投資を検討致します。
投資先への支援内容	日本初のシードアクセラレータープログラムであるOnlabが有する多様な投資先支援のノウハウおよびグローバルな投資先とのネットワークを活用し、投資先の企業価値向上を全面的に支援。	取締役やアドバイザーを派遣し、ハンズオン支援を行う。経営全般から、提携先企業紹介、資金調達、経営人材の紹介、海外進出の支援などをアドバイス。	起業家の描く未来を尊重し、それを事業仮説やエクイティストーリーへと落とし込む支援を中心に行います。そのために必要となる議論の場の提供から顧客紹介、採用支援、調達支援などにも取り組んできました。	事業開発、メンタリング、ファイナンス、更には公共政策活動など幅広く支援をさせて頂いております。
ポートフォリオ	11カ国にて200社以上(2021年9月時点) 主な投資先 米国: MX Technologies, ThredUp, indie Semiconductor 日本: iYell, マネーツリー	現在運用中の投資事業組合の出資先は28社(6月末時点)、ライフサイエンス領域がほとんどで、シード期の出資が80%以上。	年間10件程度の新規投資を実施。九州圏内を中心に投資を行っていますが、域外のスタートアップへの投資実績も増えています。 <a href="https://dogan.vc/portfolio">https://dogan.vc/portfolio</a>	空飛ぶクルマを開発するSkyDrive、小型ドローンを開発するLiberaware、ドローンなどの航空管制技術を扱うトラジェクトリー、高精細なX線検出装置を開発するANSeeNなど
Exit実績	Twitter、Facebook、LinkedIn、クラウドワークス、弁護士ドットコムなど、約40社のExit実績。2020年度のIPO実績はグッドパッチ、スタメン、QDレーザの3社。	現在運用中の投資事業組合では、なし。グループ会社を含めれば1980年代より多数。主に米国でNasdaq上場やM&Aによるものが多い。	株式会社ヘリオス[IPO]、福祉ソフト株式会社[M&A]、ウミーベ株式会社[M&A]	ドローン業界初のIPOとなった株式会社ACSL(旧社名 自律制御システム研究所)について、1号ファンドのEXIT実績があります。
備考				

採択年度	R1	R2	R3	R3
企業名	株式会社日本テクノロジーベンチャーパートナーズ	Beyond Next Ventures株式会社	Beyond X	株式会社ファストトラックイニシアティブ
HP	<a href="https://ntvp.com/">https://ntvp.com/</a>	<a href="https://beyondnextventures.com/">https://beyondnextventures.com/</a>	<a href="https://beyondx.co.jp/">https://beyondx.co.jp/</a>	<a href="https://www.fti-jp.com/">https://www.fti-jp.com/</a>
VCの概要	35年超に渡るベンチャー投資経験を通じ、起業家の支援を通じた日本の新たな産業創造に挑戦し続ける独立系VC	Beyond Next Venturesは、大学や企業などで革新的な技術の開発に取り組む研究者や、技術系スタートアップの起業家と共に、新たな産業の創出に取り組めます。出資事業を起点に多角的に事業を展開することで、研究者や起業家の皆様への総合的な支援が可能な独自のエコシステムを構築しています。	当社は、『事業を創り出し、今想像できる未来を超える』というミッションを掲げたスタートアップスタジオです。常に新たな事業創出に挑戦し、スタートアップならではのスピードと革新性で、非連続的な成長を目指します。	ファストトラックイニシアティブは、バイオ・ヘルスケアに特化した独立系VCで、創業前インキュベーション、新ビジネスモデル創出、専門性の高い経営支援に実績を有しております。
属性	独立系	独立系、大学系	独立系	独立系
主な投資ステージ	プレシード～アーリー	プレシード、シード、アーリー	プレシード～シード	プレシード、シード、アーリー
投資対象領域(業界等)	エレクトロニクス、インターネット、ヘルスケア & ライフサイエンス等	医療・ヘルスケア・ライフサイエンス、ロボット、エレクトロニクス、アグリ・フードテック等のディープテック領域。また、国内のみならず、インドをはじめとする海外展開の支援に注力しています。	投資領域は限定していません。テクノロジーの力で事業を拡大できる領域に特に注目しており、積極的に手がけていく方針です。	バイオテック: 医薬品、医療機器、遺伝子・細胞治療、診断薬・機器、バイオ機器・試薬など ヘルステック: 医療ICT、予防関連、在宅医療関連、流通、食品・栄養など
1社あたりへの投資金額(目安)	10～30百万円	50～500百万円	5～100百万円	500～1,500百万円程度(追加出資分を含む総額の目安)
リードインベスターのスタンス		リードインベスターとしての関与が中心	リード/フォロワーのどちらも対応しておりますが、投資ステージが早いこともあり、当社1社のみというケースもございます。	多くの案件につきましてリードインベスターとして関わっております。但し、フォロワーでの投資を行うケースもございます。
投資先への支援内容	投資契約の締結に基づいた社外役員への就任、及び専門家のネットワークを駆使し、独立的立場から事業構築の早い段階から戦略的で集中的かつ積極的な関与を行います。	独自のアクセラレーションプログラムBRAVEを通じた創業支援、経営チーム組成支援。経営助言、資金調達、採用、知財戦略、組織づくり、後方支援、アライアンス提携支援、販売支援、IPO支援、海外展開支援等	設立から4年でIPOを達成したメンバーが中心となって新たに設立した会社なので、経営管理体制の構築などかなりハンズオンで支援しております。	専門性高く、粘り強いハンズオン支援が特徴です。経営チームの組成から、R&D戦略・事業戦略・資金調達戦略の立案と実行、事業会社との連携・事業開発など幅広い支援を行っております。
ポートフォリオ		1号、2号、早稲田、名古屋大学のファンド運用総額は220億円、出資先は計63社です。 出資先はこちら <a href="https://beyondnextventures.com/jp/portfolio/">https://beyondnextventures.com/jp/portfolio/</a>	漢方D2Cのemy products, DX事業を手がけるBrightechなど。	バイオテック: モジュラス、ブレイゾンセラピューティクス、PuRECなど ヘルステック: メンタルヘルステクノロジーズ、ファストドクター、メディフォンなど
Exit実績	代表的なエグジットとして、株式会社ディー・エヌ・エー、アステリア株式会社、株式会社プレミアムウォーターホールディングス、株式会社アイ・ピー・エス等の上場があります。	株式会社エクスメディオ(M&A)、株式会社QDLレーザー(IPO)	設立1年強で、exitはこれからになります。	IPO: モダリス、グリーンペプタイド(現ブライトパスバイオ)、カイオム・バイオサイエンス、セルシード M&A: アキュルナ、ProbeX、医療情報総合研究所
備考		投資先のI'mbesideyou社の採択実績あり		



採択年度	R3	R3	R2	R3
企業名	Plug and Play Japan株式会社	ブルー・マーリン・パートナーズ株式会社	Bonds Investment Group株式会社	マネックスベンチャーズ株式会社
HP	<a href="https://japan.plugandplaytechcenter.com/">https://japan.plugandplaytechcenter.com/</a>	<a href="http://www.bluemarlin.com/">http://www.bluemarlin.com/</a>	<a href="https://bonds-ig.com/">https://bonds-ig.com/</a>	<a href="http://www.monexventures.com/">http://www.monexventures.com/</a>
VCの概要	スタートアップ、大手企業、投資家をつなぎ、世界中のイノベーションを加速させることをミッションとして掲げ、2006年にシリコンバレーで創業。現在、世界19カ国40拠点以上に展開しており、PaypalやDropboxをはじめとして1,000社以上の投資実績を有し、多数のユニコーン企業を輩出してきました。	当社は「2020～2040年に向けて繁栄する社会的事業の創造」をビジョンに掲げ、超長期の産業の芽を育て次代を拓くことを使命とするベンチャーキャピタルです。メンバーに事業創造のプロフェッショナルを多数擁しており、マーケットの流行や業種・業態を超えた新しいパラダイムの産業にコミットします。	2013年の業務開始以来、社会課題の解決や、社会革新・産業革新に取り組む事業に投資を行ってきました。シリーズA・Bのアーリーステージのスタートアップを中心に、原則、リードインベスターとして、ハンズオンで支援しています。	主にシード・アーリーステージのスタートアップへ投資。マネックスグループのCVCとして立ち上げ、現在は外部資金を調達し、VCとしての投資活動を推進
属性	独立系	独立系	独立系	金融機関係
主な投資ステージ	プレシード、シード、アーリー	主にプレシードおよびシード	アーリー、ミドル、レイター等	シード、アーリー
投資対象領域(業界等)	投資領域に関して制限は設けておりません。	先端テック、宇宙開発、医療領域を中心としつつ、アニメーション制作事業や劇団、あるいは地域の公共財に資するインフラ整備や伝統芸能といった文化・産業承継事業などに渡り幅広い業界を投資対象としています。	・既存産業・社会システムの革新(エコシステム) ・雇用環境の拡充(新規雇用創出、ダイバーシティ) ・人口減少、少子高齢化 ・格差問題(経済、教育、人権等) ・ニューノーマル(DX、リモート、地産地消)	幅広い業種・業界への投資を実行。特にFintech、PropTech、Insurtechなど金融・不動産領域への投資に強み
1社あたりへの投資金額(目安)	1,000万円程度	およそ10～100百万円	100～500百万円	～50百万円
リードインベスターのスタンス	基本的にリードではなくフォローで入ることが多いです。	状況に応じてリードとしてもフォローとしても入ることが可能です。	原則、リードインベスターとして、ハンズオンで支援します。	ラウンドの調達総額によっては、リードポジションを取る場合あり。基本はフォローポジション
投資先への支援内容	・国内外500+のコーポレートパートナーとのBizDev支援 ・アクセラレータープログラムのご案内 ・株主定例会の参加、経営アドバイス、採用支援等 ・国内外VC、海外担当者の紹介、etc.	起業家のメンタリング、事業計画・資本政策策定、資金調達、経営戦略策定と実行、ビジネスマッチング支援、多様なポートフォリオ企業との連携等、事業の成長フェーズに合わせ最適な支援を提供します。	ビジネスモデル立案、アライアンス支援、人事制度設計支援 採用、退職対応支援、資金調達支援、上場支援、起業家との1on1、イベント開催 等	定期的なメンタリングの実施による、上場までのエクイティストーリーの構築支援、および資金調達支援等
ポートフォリオ	国内の投資先(プレスリリース済に限る) 1. Frich 2. Space Engine 3. A Star Quantum 4. Crezit 5. Liquid Mine 6. digzyme	宇宙開発(ispace)やロボティクス(QibiTech)、ブロックチェーン(ToposWare)から劇団(ホチキス)まで、多岐に渡る業種の中で新しいパラダイムの担い手となる事業に出資しています。	BIG1号ファンド:28社 BIG2号ファンド:18社 ひょうご神戸スタートアップファンド:1社	HPをご確認ください(累計投資者数は100社超)
Exit実績	GlobalのEXIT例 ・PayPal ・DropBox ・Gardant Health, etc.	非公開会社一社	EXIT:53%、IPO:45%	株式会社ユーザベース(TSE3966)、株式会社マネーフォワード(TSE3994)、株式会社ポケットコンシェルジュ、株式会社トレッタキャッツ、株式会社アルファ
備考	NA	投資を行うにあたって「一貫性があり」「スケール化への意欲を持ち」「学び続ける意欲のある」人物であるかを重視しています。また独自に体系化した再現性ある事業創造の手法を基にハンズオンを行います。		

採択年度	R3	R2	R3	R1
企業名	三菱UFJキャピタル株式会社	株式会社Monozukuri Ventures	ライフタイムベンチャーズ	合同会社リアルテックジャパン
HP	<a href="https://www.mucap.co.jp/">https://www.mucap.co.jp/</a>	<a href="https://monozukuri.vc/ja/">https://monozukuri.vc/ja/</a>	<a href="https://lifetime-ventures.com/">https://lifetime-ventures.com/</a>	<a href="https://www.realtech.holdings/">https://www.realtech.holdings/</a>
VCの概要	1974年の設立以来、スタートアップに対し一貫して成長資金を供給。三菱UFJキャピタルとして統合された2005年以降、投資件数は累計で約1,400件、投資金額は約800億円に至る実績を築いています。国内有数の金融グループであるMUFGグループの一員として、本邦産業発展への貢献を目指し活動して参ります。	ハードウェア・スタートアップへの投資と試作・量産化に関する技術コンサルティングを提供しています。2017年に1号ファンド、2021年に2号ファンドを設立しており、これまでに日米37社(日本17社、米国20社)に投資しています。また試作・量産化も110件以上の実績があります(2020年12月末)。	「長く愛され、存在し続ける事業を創出する『才能』に投資する」をミッションとするシードVC。プロダクト未ローンチ段階のプレシード期、共同創業者コミット前のプレチーム期からでも投資し、初期トラクションの形成と次回ラウンドファイナンスの実現に向けたハンズオンでの成長支援を行う。	「リアルテックファンド」は地球と人類の課題を解決するベンチャーの支援に特化しております。私たちの投資目的は、本質的には価値を持っていても、資金や環境のためにそれを発揮できない人を救うことです。どんなに理解されにくい技術でも、本当に世界を変えたい強い想いと、それを可能にする技術を持つ人を応援します。
属性	金融機関係	独立系	独立系	独立系
主な投資ステージ	シード、アーリー、ミドル、レイト	シード、アーリー	プレシード、シード	シード、アーリー
投資対象領域(業界等)	全国40名のキャピタリストが、DX・Tech・Fintech・ライフサイエンス等の先端領域から、モノづくり・生活関連の領域まで、次世代の成長産業を支える投資を精力的に行っています。	IoT/DX等のハードウェア関連するスタートアップ。また少量生産に寄与するソフトウェアや材料を含む技術分野のスタートアップ。	Health&BioTech、Industry Cloud、Future of Work、Sustainable Living、X-border Japanの5領域	研究開発型・ディープテック領域
1社あたりへの投資金額(目安)	10~1,000百万円(含む追加投資)	30~100百万円	初回投資:プレチーム5百万円、プレシード/シード30~50百万円 追加投資:シリーズA 50~100百万円程度	数千万円から10億円以下
リードインベスターのスタンス	幅広い領域で有望スタートアップとの接点を強化、リード投資や早期ステージからの資金供給も含め、各社の成長スピード、事業戦略に応じた形でさまざまなサポートを行って参ります。	投資金額の範囲内であればリードも積極的に取り入ります。	プレシード/シードでの初回投資時は原則としてリード投資のみ行う。シリーズAラウンドでもプロラタ〜リードにて積極的に追加投資を行う。他投資家の紹介や面談同席も積極的に行う。	シード・アーリー期における投資では原則リードインベスターとしてハンズオン支援を行う方針です。
投資先への支援内容	それぞれの領域で専門性に秀でたプロフェッショナルが、投資先の事業戦略サポート、オープンイノベーションとの連携を実現することにより、スタートアップの成長に向けたより確度の高いハンズオン支援を行っています。	試作・量産化等のモノづくり支援と事業会社との事業開発支援	プレチーム期は共同創業者の採用支援、プレシード期はユーザーニーズの検証支援、ポストシード期は初期トラクションを作るレベニューフローの構築支援を主として行う。	資金調達や事業開発支援をベースに、知財戦略策定、組織設計・人材採用、広報・ブランディング、ものづくりに関する支援をBoosterとして提供しています。
ポートフォリオ	基幹ファンド5本(総額600億円)、ライフサイエンスファンド3本(同300億円)を中心に運用ファンド総額は約1,000億円です。2020年度の投資では、3分の2がシード・アーリーへの投資となりました。	ORPHE、スマートショッピング、アトモフ等	Rehab for JAPAN、IMCF、ウーオ、センセイプレイス、エピグノ、METRICA、Carstay、SPeak、IB、Douzo、KiteRa、Lisa Technologies等	QDレーザ(エレクトロニクス)、ispace(宇宙)、kyulux(新素材)、i-HeartJapan(医薬医療機器)、チャレナジー(環境)、メルティン(ロボティクス)等
Exit実績	これまで約900社のスタートアップのIPOを支援。足元2019年度以降では、24社の投資先が上場しました。	なし	新設ファンドのため未だなし	QDレーザ(2021年2月に東証マザーズにIPO)、アメリエフ(2021年9月にPHCHDと資本業務提携)
備考	スタートアップ支援に果敢にチャレンジする「やらまいか精神」に共感し、今回応募させて頂きました。グローバル拠点都市「浜松」を盛り上げるため、全力で応援させて頂きます！			

採択年度	R2
企業名	りそなキャピタル株式会社
HP	<a href="https://www.resona-gr.co.jp/resonacapital/company/index.html">https://www.resona-gr.co.jp/resonacapital/company/index.html</a>
VCの概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・りそなグループの傘下企業で設立以来30年以上にわたり株式上場の投資実績を積み上げて参りました。</li> <li>・特にグループ銀行の法人取引先(現在50万社)や地公体との深いつながりを通じて、投資先へのビジネスの機会の斡旋といった成長支援に注力していけるよう東京・大阪の両拠点のネットワークを生かしています。</li> </ul>
属性	金融機関係
主な投資ステージ	アーリー、ミドル、レイター
投資対象領域(業界等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独自の価値創出でイノベーションを起こし、成長が期待できる企業への投資を基本とする</li> <li>・業種の制限はなく、情報通信、サービス、製造、卸小売、創業まで幅広く投資</li> </ul>
1社あたりへの投資金額(目安)	20百万円～100百万円
リードインベスターのスタンス	基本的にリードではなくフォローで入ることが多い
投資先への支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①銀行取引(資金調達支援、海外進出支援、内外為決済機能支援、信託機能の提供等)</li> <li>②ビジネスマッチング(販売先、外注先、仕入先、地公体等)</li> <li>③経営支援(助言、予実管理支援等)</li> </ul>
ポートフォリオ	りそなキャピタル4号投資事業組合(IPOファンド)のポートフォリオ ステージ:アーリー42%、ミドル27%、レイター31% 業種:情報通信35%、サービス27%、製造等19%、その他19%
Exit実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・累計公開社数451社(2021年6月現在)</li> <li>・直近IPOファンド(りそなキャピタル4号投資事業組合)のEXIT実績はIPO7社、M&amp;A1社</li> </ul>
備考	